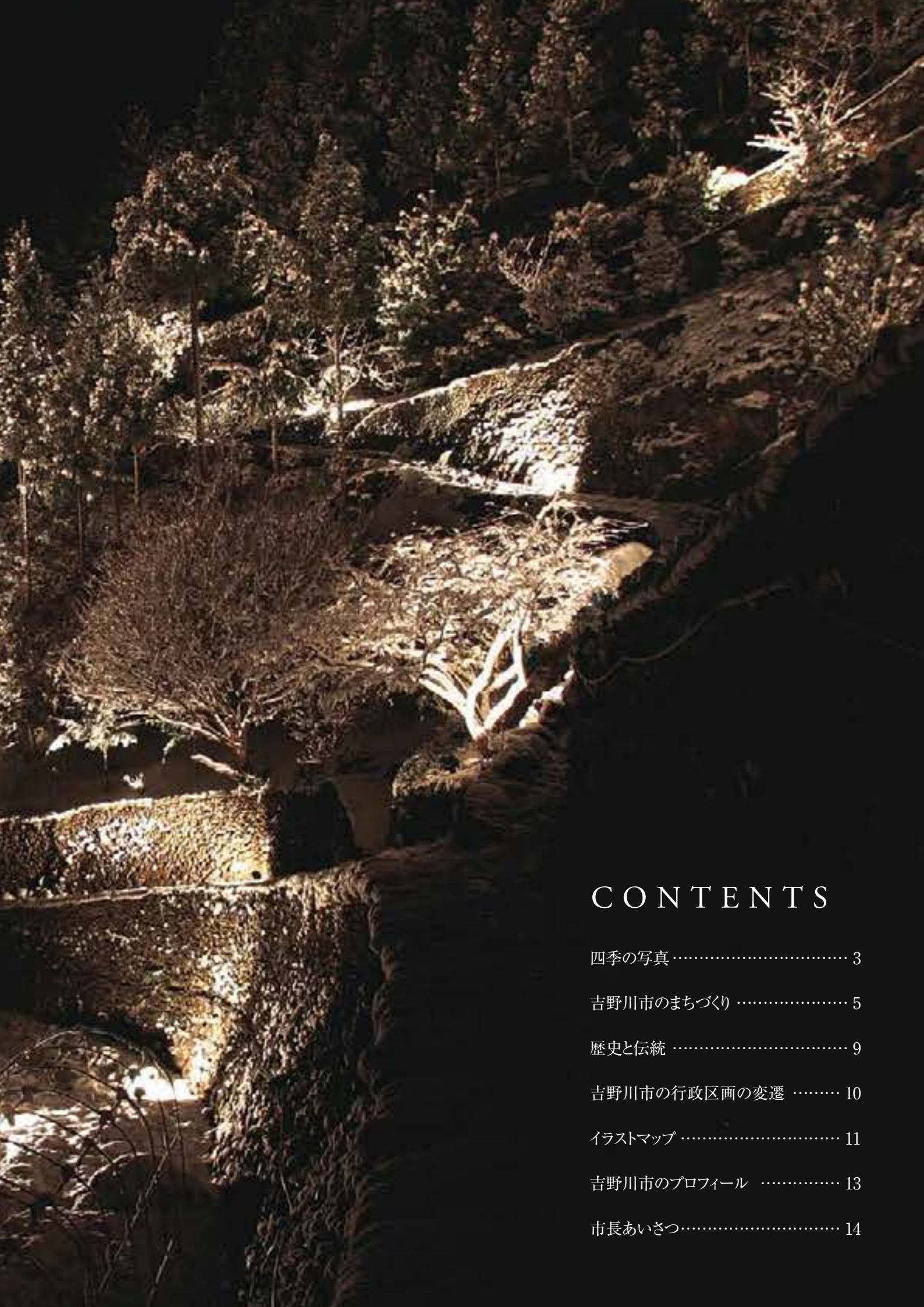


川と緑のふれあうまち

吉野川市

YOSHINOAWA CITY

市勢要覧



CONTENTS

四季の写真	3
吉野川市のまちづくり	5
歴史と伝統	9
吉野川市の行政区画の変遷	10
イラストマップ	11
吉野川市のプロフィール	13
市長あいさつ	14



photo 高開石積みライトアップ

四季のふること

癒しの風景

夏

春



③

④ 母衣暮露滝 (美郷)

川田川の源流に位置する「母衣暮露滝」は、落差約30mの滝で、美郷の最西端標高700mにあります。滝のすそには霊験あ

かうホタルの群れを見ることが出来ます。

③ 美郷のホタル (美郷)

美郷地区全体が「美郷のホタルおよびその発生地」として国の天然記念物に指定されています。川田川と東山谷川の二つの清流で、5月下旬から6月にかけて無数の飛ぶホタルの群れを見ることが出来ます。

② 川島公園 (川島町)

川島公園は、阿波九城の一つとして数えられた川島城が築かれていた「城山」一帯をいいます。元龜3年(1572)の上桜城陥落後、三好家家臣川島兵衛進は、吉野川を望むこの地に城を築き、川島城と称しました。現在の川島城は、昭和56年に築城されたもので、桜の名所でもあり、憩いの場として親しまれています。

① 船窪のオンツツジ群落 (山川町)

阿波富士ともいわれ美しい姿の高越山から奥野々山に通じる峰筋にあります。面積約3haの船底形の窪地(標高1060m)に朱赤色のオンツツジを中心



④



①



②



吉野川の豊かな水に恵まれて
四季折々の美しい自然が織りなす風景
季節の彩り鮮やかに…

冬



⑦

秋

⑥



⑤

⑤ 菊人形・菊花展(鴨島町)

西日本で唯の「菊人形・菊花展」は、市役所前のイベント広場で毎年10月下旬から11月下旬にかけて行われています。NHK大河ドラマなどの主人公をテーマとした菊人形や、見事な菊の花が展示されます。

⑥ 重楽寺の紅葉(美郷)

約400年前、天正7年(1579)、土佐の長宗我部元親の戦火により寺が焼失しました。寛永年間(1624)開山、清恩上人が10ヶ寺を合流し重楽寺を開創しました。山内には七福神の諸堂が建ち並び、梅・桜・ツツジ・モミジなど景観の良ところです。

⑦ 百手神事(お的)(山川町)

川田山の王子神社では、成人の日(1月の第2月曜日)に「百手」として、鬼を描いた的を弓矢で射て、年中の氏子の悪魔ばらいを祈願しています。弓・的を射ることによって神の意向を占う行事は昔から全国各地で行われています。これを「お的」といい、山川町では王子神社と川田八幡神社にその習わしが残っています。古式ゆかしい伝統行事です。

世代を越えて、夢紡ぐまち。

新・生活創造都市をめざして

吉野川市のまちづくり

人と物が集まる
まちづくりを

平成16年10月、新しい市として産声をあげた吉野川市、将来を展望した総合計画を策定し、「子育て支援」、「教育環境の整備」、「安全安心対策」などを柱に順次取り組んでいます。これからも時代の潮流を的確に把握し、大都市にない個性を育てながら、今まで以上に人と物が集まる将来を見越したまちづくりを進めていきます。

また市民の皆さんが、心身ともに健康に、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市民の日常生活に密着した行政サービスの提供、市民のニーズに的確に対応できる体制づくりに取り組めます。

市民が生き生きと活動する
利便性の高いまちづくり

人が集まり活発な活動が営まれ、交通網が整備され内外の交流が行われる条件を整えながら、市民を中心とした交流が盛んに行われるまちをめざします。



健康で
快適に暮らせる
まちづくり

市民と市が協力して
一人一人の健康を守り、生
涯にわたり健康な生活を
送ることができるよう、心
身の健康づくりを推進し
ます。



介護予防教室



子育て支援センター



テレビドラマロケの誘致

吉野川市には、水と緑の恵みを生かし
た農林業と、都市的な公園やホテル、ツッ
ジの見どころなど観光集客の多様な資源
があります。こうした資源を生かしなが
ら新たな産業が展開することにより、更
なる経済的活性化をめざします。

活力ある産業の振興



阿波踊り舞台公演



豊かな人間性をはぐくむ
地域づくり

「地方分権」の時代を迎えることにより教育や文化の振興のあり方も、地域独自の取り組みが求められるようになっていきます。吉野川市においても学力の向上とならび一人一人の個性を伸ばし、地域の将来を担う子どもの健全育成を図ります。



人権の花活動

山川中学校校舎



リバーサイドハーフマラソン

ゆとりとふれあいの 生活環境の形成

近年は気象変動が大きく、各地でこれまでにない大災害が多く発生しています。吉野川市でも災害が発生した際の応急対策や情報伝達、避難誘導のあり方を再認識し、共通の意識・情報のもとに住民と行政が一体となり対応するという取り組みを進めていきます。



吉野川水防訓練



交通安全運動



ほたる川排水機場



学校給食センター

効率的な 行財政基盤の確立

地方分権の動向に対応しながら事業の効率化を進め、長期的な視点で吉野川市の未来を展望し、よりよい行政サービスが提供できるよう努めます。また行政への住民参加の拡大を推進していきます。



市役所 本館



市役所 東館



藤井寺
(鴨島町)

境内には、弘法大師のお手植えといわれる五色に咲くフジで有名で、寺名の由来となっています。本尊は、明治44年に国の重要文化財にも指定された「木造薬師如来座像」です。ここから第12番札所焼山寺への遍路道は、四国霊場88カ所の中でも唯一、1200年前弘法大師が歩いた時のままの自然が残っている「最後まで残った空海の道」として大切に保存されています。

誇りある歴史と伝統

大切に受け継いでゆきたい宝物



平八幡神社奉納獅子舞
(美郷)

美郷平八幡神社祭に行われ、五穀豊穡、家内安全を祈願し、2頭の獅子が勇壮に舞い祭りに彩りを添えます。約150年前から継承され、伝統ある獅子舞です。

吉野川市の 行政区画の変遷

吉野川市誕生までのあゆみ

吉野川市は、「四国三郎」で知られる吉野川中流域の拠点都市として、平成16年10月1日、麻植郡鴨島町、川島町、山川町、美郷村の4つの町と村が合併して誕生しました。

明治22年(1889)町村制が実施され、11の村になりました。昭和28年(1953)には「町村合併促進法」が施行、昭和29年(1954)に現在の鴨島町が、昭和30年(1955)には現在の川島町、山川町、美郷村が誕生し、11から4つの町村になりました。こうした多くの歴史をもとに、「世代を越えて夢紡ぐまち」を理念に、旧四町村の持つ伝統、文化を引き継ぎ、美しいふるさとを守り育てていきたいと願っています。

明治 22年 (1889)	明治 40年 (1907)	明治 41年 (1908)	大正 12年 (1923)	昭和 3年 (1928)	昭和 29年 (1954)	昭和 30年 (1955)	平成 16年 (2004)
鴨島村		鴨島町 (M41.7.20) 東山村の一部(樋山地)・柿島村の一部(知恵島)を編入					 吉野川市 (H16.10.1)
牛島村		一条町の一部(西条字先須賀・四ッ屋)を編入					
森山村							
西尾村		八幡町の一部(粟島字前須賀の一部)を編入					
桑川村	川島町 (M40.10.1)						
学島村						山川町 (S30.1.1)	
山瀬村			山瀬町 (T12.5.5)				
川田村				川田町 (S3.11.10)			
(12地区を山川町へ編入)							
三山村						美郷村 (S30.1.1)	
(10地区を美郷村へ編入)							
東山村							
中枝村						(中枝村の一部は木屋平村へ併合)	



川田八幡神社の秋祭り(山川町)

毎年10月22日の川田八幡神社の例大祭には「秋祭り」がにぎやかに行われます。神輿の渡御では氏子たちが屋台をかついで、200mあまりの参道を練り歩き、50段の階段を勇壮に一気に駆け上がり境内へ運びます。見応えもあり迫力も満点です。

七十五膳の神事(川島町)

川島神社では、毎年10月の秋の例大祭の儀式で古式にのっとり、海・山・野・川の幸、75種を神前に供え、豊作を感謝し、氏子の健康を祈願するという神事が行われます。特にお供えた箸は、霊験があるといわれています。



忌部神社(山川町)

阿波忌部の祖神とされている天日鷲命を、阿波開拓の先進地である、この地に祭ったものです。現在のJR山瀬駅の東南約1km、自然石の階段を登った忌部山の中腹に、松と桜の古木に囲まれて建っています。神社の裏山には、忌部山古墳群があります。



(財)阿波和紙伝統産業会館

吉野川市イラストマップ

YOSHINOOGAWA CITY ILLUSTRATION MAP



高開石積みシバザクラ



上桜城址



江川・鴨島公園



向麻山公園

INFORMATION

① 鴨島温泉 鴨の湯

吉野川市鴨島町飯尾415-1

☎0883-22-1926

② ひまわり農産市

吉野川市鴨島町上下島283

☎0883-22-0006

③ 藤井寺

吉野川市鴨島町飯尾1525

☎0883-24-2384

④ 美郷の湯

吉野川市美郷字奥丸75

☎0883-43-2626

⑤ (財)阿波和紙伝統産業会館

吉野川市山川町川東141

☎0883-42-6120

⑥ 美郷物産館

吉野川市美郷字峠463-3

☎0883-26-7888

⑦ 美郷ほたる館

吉野川市美郷字宗田82-1

☎0883-43-2888

⑧ ふいご温泉

吉野川市山川町久宗31-1

☎0883-42-4700



バンブーパーク



学駅



重楽寺

吉野川市のプロフィール



● 市章

4つの放射型は合併した4町村の躍動、四国山地など山々の稜線、白の空間は吉野川を主とする川の流れをイメージしています。



● 市の木〈オンツツジ〉

昭和60年に国の天然記念物に指定された、船窪のオンツツジは、ほかに類を見ない大群落を形成しています。



● 市の花〈キク〉

キクは、大菊から小菊まで色とりどりの美しい花を咲かせ、切り花や鉢植えなどの観賞用として広く市民に親しまれています。



● 市の鳥〈カワセミ〉

カワセミは、きれいな水辺に棲む鳥で、市の名称の由来でもある吉野川の清流を象徴する鳥です。

吉野川市の概要

吉野川市は、徳島県北部のほぼ中央、吉野川の中流域南岸にあり、北は同川をはさんで阿波市、東から南は名西郡、西は美馬市に隣接しています。市の南部は四国山地の北部にあたる山地で、高越山をはじめ急峻な山々が連なっています。



交通

- 徳島阿波おどり空港から車で約1時間
- 徳島自動車道、土成インターチェンジから車で約20分
- 徳島自動車道、脇町インターチェンジから車で約15分
- 高松自動車道、板野インターチェンジから車で約50分
- JR徳島駅からJR徳島線で約40分。バス、車で約40分

市民憲章

吉野川市は、吉野川の流れにはぐくまれ、自然豊かなまちです。わたしたちは、このまちに生きることに誇りと責任を持ち、「世代を越えて夢紡ぐまち」をめざしてこの憲章を定めます。

- 一、わたしたち一人ひとりが元気を出して、わたしたちのまちをつくります
- 一、健康で快適に暮らせる、安全で安心なまちにします
- 一、産業を振興し、にぎわいのあるまちにします
- 一、豊かな人間性をはぐくみ、思いやりのあるまちにします
- 一、環境を大切に、住みよい美しいまちにします

※市勢要覧資料編は、ホームページに掲載しています。 → <http://www.city.yoshinogawa.lg.jp/>



市長の メッセージ



発刊にあたって

平成16年10月、3町1村の合併により吉野川市は誕生し、本年で市制10年を迎えることができました。

吉野川市は、美しい清流「四国三郎」吉野川にはぐくまれ、ホタルやツツジの大群生など四季おりおりの豊かな自然が息づいています。また誇りある歴史と伝統、文化を受け継ぎながら、「世代を越えて夢紡ぐまち新・生活創造都市をめざして」を市の将来像とし、豊かさやゆとりを実感できるまちづくりに取り組み、市民の日常生活に密着した行政サービスの提供を心がけながらさらなる飛躍をめざしています。

現在、地方を取り巻く環境は、地域経済の低迷に加え、人口の減少や少子高齢化、地方分権の推進など大きく変化しています。現状を直視しつつ、伸びゆくふさと「吉野川市」の未来をより確かなものとしていくため、今まで以上に市民の皆さんとの協働により、夢と希望あふれるまちにしていきたいと考えています。

市勢要覧をご高覧のうえ、本市への理解を深めていただき、よりよいまちづくりへの一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成26年10月

吉野川市長 川真田 哲哉



発刊／徳島県吉野川市
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL.0883-22-2222
<http://www.city.yoshinogawa.lg.jp/>
編集／吉野川市総務部企画財政課

2014.10